

(様式3)

自己評価結果票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.理念に基づく運営			
1.理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>地域とともに協力し合い活動行事の参加の機会を持ち、生き生きと楽しい生活を援助していく。また、スタッフの明るさと笑顔の中でその人らしい生活をサポートする</p>	<p>活動、行司の参加に力を入れていき、地域の方々と触れ合える機会を増やしたい。また、地域活動の中でホームとして協力できることがあれば参加していきたい</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>地域の方々に受け入れてもらえる様に認知症に対する援助方法など話し合える機会を作り、地域とスタッフが協力して生活を支えていく方向に少しずつ近づけたい</p>	<p>老人会、婦人会、子ども会などをお願いしたり、ボランティアの受け入れも多くして入居者様の生活に楽しみが持てるようにしていきたい</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>ご家族やボランティア受け入れの際には理念について話しをする機会を設けている</p>	<p>理念が浸透していくような働きかけを継続して行なう</p>
2.地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>隣接している診療所や、ホーム前バス停の待ち時間等に気軽に入っただけの様に玄関に自動販売機を設置しています。ご近所の方からお花をいただいたり、散歩時に気軽に声をかけていただいている</p>	<p>ホームとしても、何か奉仕できることを考えて少しでも多く地域の方々と接する機会を増やしたい</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>自治会、老人会の入会は地区条例上難しいので、会員としての活動参加はしていないが、行事等の案内はいただき、参加している</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の高齢者の方々に、何かお役に立つことがないかとの意見も出るが、現在取り組みまでには至っていない		認知症に悩みを感じている在宅介護者への悩み相談や、独居老人の方が気軽に相談できるような体制づくりを考えていきたい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	去年の外部評価の総評を職員に配布し、改善点などを話し合い、前向きに取り組んでいる		家族の方にも評価の説明や意見を伺う機会を作りたい
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	事故報告、行事報告、評価報告及び改善点についての説明もさせていただきました。地域の行事等の案内も頂きましたので、出来るだけ参加するように計画しています。		
9	市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の職員担当者とは運営推進会議での意見交換と事故報告や定期提出書類に伺い、近況を報告できるようにしている		運営推進会議などで意見を提案していただき、サービスの向上に取り組みたいです。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在4名が成年後見制度を利用されている。権利擁護事業を利用されている方はいません		両制度について勉強会でとりあげ、制度の理解を職員全体が出来るようにしていきたい
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員の外部研究は行なっていないが、拘束や人権については注意を払っている。職員一人ひとりが自覚し、虐待防止に努めている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ホールに苦情受付箱を設置している。また、日々ご利用者様からの苦情要望に耳を傾けるようにし、行動や態度からも察することが出来るようにしている</p>	<p>課程介護員の派遣を赤穂市より依頼されており、受け入れ予定である</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>月末に金銭預かり残高のお知らせと、日々のご様子を送付している。健康状態に悪化が見られれば、医師と相談し、ご家族へ連絡している。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ホールに苦情箱を設置しているほか、入居時に苦情についての説明を行ない、公的機関の電話番号も記載している。ご家族の面会時や、ケアプランの説明時には、ご意見、苦情を伺うようにしている</p>	<p>開設1年半で、苦情が寄せられたことはないのだが、今後苦情があった場合、運営推進委員会で、苦情内容を公表していきたい。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月に1度の全体会議開催時に運営者に出席してもらい、職員の意見を聞いてもらえる機会をつくり、反映できるようにしています。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>外出、行事等については事前に勤務調整をし、日々の対応としてはフリー業務者、日勤業務者が応援できるようにしている</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	家庭の事情など、やむを得ない退職があるが、利用者様やご家族に挨拶をし、また新任者への引継ぎも、利用者様へのダメージが最小限になるよう気を配っている		
5.人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1度の全体会議の際に、必要と思われる介護知識や考え方などをレクチャーしている。また、個別でも話し合う機会を設けている。法人外研修は、職員数が少ない職場であることから、機会の確保が難しく、少しずつではあるが、試みている段階である		職員の経験・能力に適した研修を受けることが出来るような職場づくりをこれからも心がけていきたい
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	関連する事業所などと交流会を開いて情報交換を行い、サービスの質の向上に努めている		
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員のストレスや疲労に気を配り、要因を把握できるように努めている。休憩時間には利用者様と離れて一息できる場所を確保しており、建物外でも休憩所を設けている		職員によって、ストレスの度合いが異なるので、日々職員の「様子をみながら、十分に話を聞く機会を作っていく
22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の資格制度に向けた取り組みを行っており、取得後は本人の意思を尊重しながら力を発揮できる環境づくりに努めている		職員の日頃の努力や具体的な実績、勤務状況等を把握し、向上心を持って働けるような配慮や対応をしていく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>ご相談や入居の連絡があればご本人同伴で見学に来ていただき、生活の様子を見てもらっている。その後、ご自宅へ伺い、生活の様子や、不安なこと、希望を伺い案して入居できるようサポートしている</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>利用者様がホームに馴染めるか心配されるご家族様が大半です。家族の方には面接相談の機械を作ってゆっくりお話を聞くようにしている</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご相談頂いた時、まずお話を伺いし、入居を急がれている場合には担当ケアマネージャーとも連携を持ちご本人が困らないように援助できるよう心がけている</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>訪問聞き取りに出向いたときに、お世話させてもらう職員と同行し顔を覚えてもらうようにしています。ご家庭での様子を重点的に聞き、ホームでも生活習慣を維持できるよう心がけている。ご家族にも日々の様子を連絡し、不安解消に努めています。</p>	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>家庭の生活に近づけるように家事を一緒に行い、日常生活のパターンを作るようにしています。皆さんと一緒にお茶を飲みながら団欒の時間を設けて、職員も学ばせていただいています。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 利用者と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	ご家族は皆さん協力的で、行事の参加もいただいています。また、面会時には利用者様の輪の中に入ってこられて、一緒にお茶を飲み、家族のように接していただきます。		
29 利用者や家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの利用者や家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している	面会はいつでもフリータイムでお受けしています。いつでも会えるという安心感のもとで、良い関係を保てるように心がけています		
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	全員ではないが、2ヶ月に1度くらいで外泊されています。また、外出時に以前生活していた家へ帰られることもあります。		
31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	職員が利用者様に声かけし、孤立しないよう一緒に楽しめる事を提供しています。ビデオ鑑賞の時間を設けて、職員といろいろ話しながら過ごしています。		
32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院退所の方や、他施設に移られた方がいますが、その後の様子は伺っていない		定期的にご様子などを伺い、困ったときには力になれるような体制を整えていきたい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>信頼関係を築き、お話の中から希望や要望を伺い、現実へ向けて取り組んでいる。また、意思疎通が困難な方は、日々のご様子や、ご家族からの話の中から汲み取り、楽しく過ごせるように支援している</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居前の訪問時にご本人の家庭での様子や生活歴を伺っている。また、センター方式の一部をお渡しして協力をお願いしている。その後も、気づきや会話の中で知りえたことを書き加えて、把握している</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>残存機能を活かせるように、調理・掃除・畑仕事を一緒に行なっている。様々な働きかけの中から出来ることを見出し、得意分野を活かしたアプローチをしている</p>	
2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>定期的カンファレンスを行い、より良いケアに向けて話し合いの場を持っている。利用者様、ご家族からも話を伺う機会を設けている。全体でのケア会議で結果を報告し、情報を共有し、統一した自立支援に向けたケアを行なうようにしている</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>設定した期間での見直しはもちろん、状態が変化した場合や入院後の変化に応じて現状に合った介護計画の作成に努めている</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子、健康状態は、パソコンで管理しており、ひと目でユニットが把握出来るようになっている。個人の気づきシートを活用し、情報を共有しながら次回のプランに活かしている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者様やご家族の状況に応じて、通院介助や、入院時の付き添いや洗濯など必要であれば柔軟に対応し満足いただけるよう支援している		
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	利用者様が生き生きと安心して生活できるように地域の方やボランティアの協力を呼びかけている。消防署の協力の下、避難訓練・心肺蘇生の講習会を定期的に取り組んでいる		
41	他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域の他のケアマネジャーとは、入居時の情報提供などで連絡を取るなかで、信頼関係を築いている所である。特別養護老人ホームへの入居の意向があれば、情報提供など必用な支援を行なっている。利用者の意向として魚、パンの移動販売が定期的に訪問しており、一緒に選んだ魚が夕食に出るようにしている		
42	地域包括支援センターとの協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進委員会では地域包括支援センターの方がメンバーであり、事業所内の件については定期的に報告している。		認知症の人を地域で支えるために、地域の情報や協力が得られるような関係を築いていく

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	隣接するかかりつけ医院の定期的な往診がある。定期的な健康診断や、緊急時にも柔軟に対応できるため、ご家族も安心されている。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	かかりつけ医院の医師が認知症の専門なので、指導や助言をいただいている		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	隣接地にある医院の連携により、個別の状況を把握されており、普段から気軽に看護師に相談でき、個々の健康管理を行なっている		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院する際は利用者様のストレスや不安を軽減するため、医師・ご家族との話し合いや情報交換をしながら回復状況を把握している。ホームで対応可能な段階で早く退院できるように支援している		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化に伴う対応の変化について、マニュアルを作成し方針を共有している。安心して最期が迎えられるように、入居時より説明を行なっているほか、見取りが必要な場合は医師との連携を持ち方針を共有する		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	開設後現在まで終末期に向けた支援が必要な方がいないため、かかりつけ医との連携を保ちながら納得したケアを受けられるよう努める		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
55	<p>利用者の嗜好の支援</p> <p>利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		<p>事業所の都合に合わせた入浴になっていないかを常に念頭において個々の希望を取り入れながら気持ちよい入浴が出来るように支援する</p>
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		<p>お花を近所から頂いた時には生け花が得意な方に活かしていただいている。料理が得意な方には積極的に調理に参加していただき、おいしい料理が出来上がっている。その他、唄の好きな方、本の好きな方など、楽しみのある生活を送れるよう取り組んでいる</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理で財布をもたれている方もあります。こちらでお預かりしている方も外出時には自分で財布を持ち、レジで精算できるよう援助している		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的な支援としては、気分転換を図る為に近くの海岸や山沿いの道を散歩したり、畑の草取りをしている。		車での外出支援については、事前に日程を決めているが、可能な限り、利用者様の気分に沿って支援していくように努める。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	現在外食計画や、ご家族同伴の外出なども計画しようと、職員間で案を練っているところである		年間行事として取り入れていきたい
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	リビングに公衆電話を設置しており、利用者様が希望すれば支援している。季節に応じた年賀状や暑中見舞いなどを余暇活動の一環として作成し、ご家族へ送付している		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも面会に来ていただけるようにご家族に伝えている。知人・友人の面会時にも、お茶を出して一緒に語らいの時間が過せるよう、場所づくりや、笑顔の対応を心がけている		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については様々なケースの中で、何度も説明しています。マニュアルも作成している。拘束のないケアについて全職員が認識しながら業務にあたっていると思います		勉強会を実施し、周知徹底したい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		<p>地域での消防や警察に協力をお願いしたいと思う。また、すまいるでの訓練時には、近隣の参加も呼びかけていきたい</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて 家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大 切にした対応策を話し合っている	入居前のご家族との面接時には、拘束につい ての説明をしている。また、利用者様のご様子に合 わせて再度相談、説明し生活に支障をきたさない 暮らしをサポートできるよう心がけている		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に 努め、気づいた際には速やかに情報を共有 し、対応に結び付けている	毎日バイタルチェックを行い、食事・水分・排 泄状況をパソコンに記録している。普段の様子を 把握し、異常や変化が見られれば報告し対応して いる。情報を共有し勤務者への引継ぎしている		
74 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副 作用、用法や用量について理解しており、 服薬の支援と症状の変化の確認に努めてい る	利用者様の疾患を把握し、出されている薬の内 容を、処方時にいただく説明書をファイルへ入れ て保存し、閲覧できるようにしている。服薬支援 として、名前が記入、分封された薬に日付けを記 載し、のみわせれが無いように援助している		
75 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防 と対応のための飲食物の工夫や身体を動か す働きかけ等に取り組んでいる	食材には野菜、飲み物、おやつには乳飲料を取 り入れるよう心がけている。日常生活においても 適度な運動を取り入れるようにしている		
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じ た支援をしている	毎食後の歯磨き、口腔ケアを習慣化している。 利用者様の能力に合わせて声かけセッティング~ 介助を行っている。また、食事をおいしく食べる ために、必要に応じて歯科往診をうけている		
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日 を通じて確保できるよう、一人ひとりの状 態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランス、カロリー過不足が起こらないよ う、献立表を作成している。食事形態も、利用者 様の健康状態に配慮しながら対応している。1日 の水分量や食事摂取量をチェックしており、水分 の少ない方や、発熱者にも注意し、水分補給して いる。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症予防マニュアルを作成し、すぐ閲覧できるところに保管している。手洗いうがいを徹底し、共有スペースの消毒を行い、予防に努めている。インフルエンザの予防接種は、全職員が受けている		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理後、まな板や布巾はハイター消毒し、食材は1日分購入し、毎日曜日に冷蔵庫の整理を行っている。職員も利用者様も調理前には手洗い、消毒している。卵、肉や魚介類は完全に火が通るよう調理している		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関廻りに植木、鉢植えなどを置き、近隣の方が入りやすいように自動販売機を設置し、明るい雰囲気ホームづくりを心がけている		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節ごとの花を生けたり、手づくりの作品等なども飾ったりと落ち着ける空間を作り、入浴時には季節感のある入浴剤を使用している。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関ホール、ウッドデッキ、2階入り口に、テーブル、椅子、本などを設置し、来客時の話りに試用したり1人になれるスペースとして活用されている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している</p>		
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
87	<p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている</p>		

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

毎週曜日を決めてサロン(クラブ活動)を取り入れている

自由参加ではあるが、好評である。日々の空間から離れて小さな落ち着いた部屋でリラックスした雰囲気に取り組んでいる

「大人の塗り絵サロン」では、コンテスト出展を目指して取り組んでいます。

「すまいる ベっぴん」では、女性を中心にエステやメイク、ネイルなどきれいになることで心のときめきを感じていただいています。

順次増やしていきたいと計画中ですが、普段の生活ではみられないような笑顔で喜ばれて好評です。